

# EUDR、AWをめぐる最近の動向

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ブリュッセル事務所 前田 昌宏

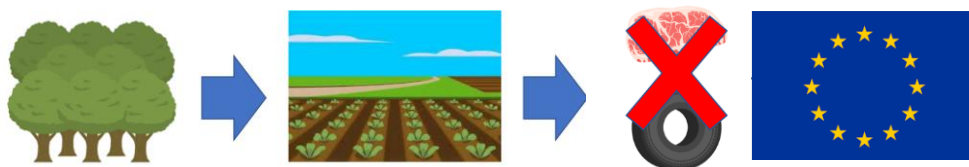
2025年12月4日（12月10日更新）

■ ご注意

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。

# 1 | EUの森林減少防止に関する規則（EUDR）の概要

## ✓ 目的・・・森林減少の防止



EU市場に輸入・販売され又はEU市場から輸出される製品が、森林減少に関わっていないことや生産国の関連法規を遵守していることの確認（デュー・デリジェンス（DD））・証明を義務付け

## ✓ 概要

- ＜対象製品＞ 牛、カカオ、コーヒー、アブラヤシ、ゴム、大豆、木材を原材料とする製品  
（例：牛肉、牛皮、チョコレート、パーム油、タイヤ、木製家具、紙製品）

- EU市場に対象製品を輸入しようとする事業者（原則輸入業者）等は、DDを実施し、森林減少に関わっていないことや生産国の関連法規を遵守していることを証明するデュー・デリジェンス・ステートメント(DDS)を提出する必要 = 地理的位置情報などの収集・提出

- EU域外の者も、情報提供等、DDへの協力を求められる可能性

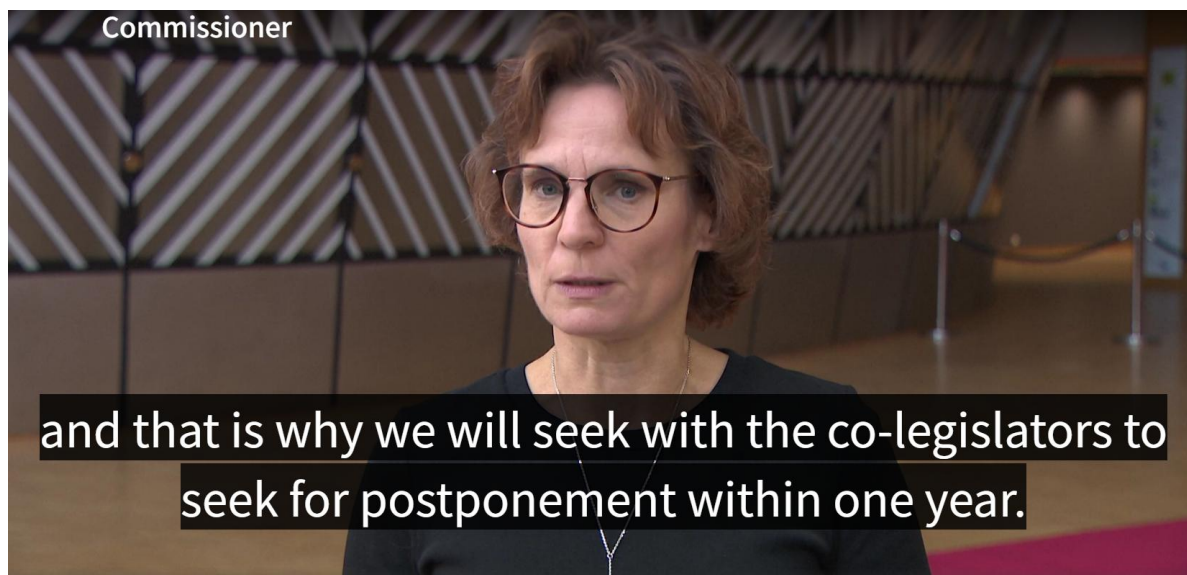
## ✓ 適用開始日

- ・ 2025年12月30日から(小規模・零細事業者は2026年6月30日から)

## 2 | EUDRをめぐる最近の動向

### 2025年9月23日 欧州委員、適用の1年延期を示唆

- ・ DDSなどを提出するITシステムに懸念
- ・ 大規模・中規模企業：25年12月30日～ → 26年12月30日～
- ・ 小規模・零細事業者：26年 6月30日～ → 27年 6月30日～



EUDR担当のロズウォール委員

## 2 | EUDRをめぐる最近の動向

### 2025年10月21日 欧州委員会、簡素化と移行期間の設定を提案

#### (1) DDSの簡素化

対象：EU市場に製品を直接上市又はEUから輸出する低リスク国の零細・小規模一次生産事業者  
(Micro Small Primary Operator)

内容：DDSの提出に替えて、ITシステム上での簡易宣言の提出で可

#### (2) DDSの確認、提出義務の軽減

対象：バリューチェーン下流の事業者 (downstream operator) および取引業者 (trader)

内容：DDSの確認や提出義務を廃止

(DDSの提出義務と責任は、製品を最初にEU市場に投入する事業者に集約)

#### (3) 移行期間の設定

##### ① 6か月の延期

対象：零細・小規模企業

内容：適用を26年12月30日まで6カ月延期

##### ② 検査実施の猶予

対象：中規模・大規模企業

内容：当初通り25年12月30日からの適用、

ただし、26年6月30日までの6か月の間、当局による検査の実施を猶予

#### 事業者などからの反発

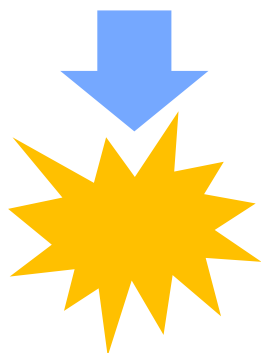
##### 複数の業界団体

- ・ 重大な変更を伴うものであり、適用開始までの対応は非現実的
- ・ 十分な明確性と法的確実性が提供されていない

→Stop the clock (延期) して真の簡素化を

##### 対応済企業、環境団体

- ・ 予定通りの実施を



## 2 | EUDRをめぐる最近の動向

### 11月19日にEU理事会、同月26日に欧州議会が交渉ポジションを確認

※ 下線部分が欧州委員会提案からの修正内容

#### (1) DDの簡素化

対象：EU市場に製品を直接上市又はEUから輸出する低リスク国の零細・小規模一次生産事業者  
(Micro Small Primary Operator)

内容：DDSの提出に替えて、ITシステム上での1回の簡易宣言の提出で可

#### (2) DDSの提出・確認義務の軽減、参照番号の収集は1回目の下流の事業者のみ

対象：バリューチェーン下流の事業者 (downstream operator) および取引業者 (trader)

内容：DDSの確認や提出義務を廃止

(DDSの提出義務と責任は、製品を最初にEU市場に投入する事業者に集約)

#### (3) 移行期間の設定ではなく、1年間の延期

対象：すべての規模の企業

内容：大規模・中規模企業：25年12月30日～ → 26年12月30日～

小規模・零細事業者：26年 6月30日～ → 27年 6月30日～

#### (4) 欧州委員会によるEUDR簡素化レビューの実施を要請

2026年4月30日までに簡素化レビューを実施 → 結果次第では規則の見直しも含まれる



12月5日、 上記内容でEU理事会と欧州議会が政治合意

### 3 | AWをめぐる最近の動向

#### 動物輸送

(1) 2023年12月、

欧州委員会、動物輸送に関するアニマルウェルフェア（AW）規則案を発表

内容：① 動物の輸送時間を制限し、休憩時間を増加

② 1頭あたりのスペースを増加

③ EU域外への輸出時の輸送条件を改善

④ 外気温度による輸送制限

(2) 2025年12月現在、EU理事会、欧州議会で検討中

#### 家畜の飼養

(1) 2025年6月、欧州委員会提案に向けた意見募集を開始

内容：① ケージ飼養の段階的廃止の検討

② AW指標とその測定方法の設定、デジタル活用の検討

③ 輸入要件、EUAW基準の適用の検討

④ 1日齢雄ヒナの殺処分の段階的廃止の検討

(2) 今後の流れ

2026年第4四半期に欧州委員会からの提案提出予定



#### その他

・当初予定の、と畜とラベル表示に関する改正は、現時点では行われる見込みは立っていない

# ご清聴ありがとうございました

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ブリュッセル事務所

前田 昌宏



Masahiro\_Maeda@jetro.go.jp



Rue de la Loi 82, 1040 Brussels, Belgium

世界の  
ビジネス関連情報  
を毎日掲載！

閲覧無料

『ビジネス短信』  
はこちら



<https://www.jetro.go.jp/biznews/>

海外の畜産関係の  
情報を随時更新

ALIC海外情報



<https://lin.alic.go.jp/alic/week/week.htm>

## ■ ご注意

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。

本レポートには、ジェトロの公式見解ではなく発表者の論考、意見が含まれます。これらについてジェトロは一切の責任を負うものではありません。